第　六　号

やっちく瓦版

2008年（平成20年）4月25日（金）

鹿児島県志布志市松山町
発行　大隅の國
やっちく松山藩
やっちく瓦版所
℡　099(487)2111
第六号　平成２０年４月

主な紙面

①ふるさときゃらばん志布志公演
②追悼　ミハエル・ゲイス神父
③やっちく何でもQ＆A
④やっちく活動報告
⑤シリーズ歴代藩主＆藩士

やっちく松山藩ホームページ
http://www.mura-saisei.jp/yattiku/

ふるさときゃらばん隊　志布志公演

新しい街で・新しい仲間と・新しい感動を

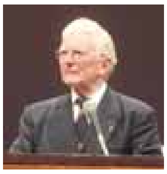
一月二十一日、劇団ふるさときゃらばん、新作ミュージカル 地震・カミナリ・火事・オヤジ」の公演が志布志市文化会館で催されました。

やっちく松山藩の藩士もこの公演の実行委員として、あるいは公演の準備や片付け等のサポート役として参加しました。

劇団ふるさときゃらばんは、「いま」を生きる人々の応援ミュージカルとして全国各地を公演している劇団で、今回のミュージカルは、「自分のまちは自分で守る！・」と愛する地域を守るために奮闘する消防団員の姿を通して、家族や人と人とのつながり、地域のつながりの大切さを感じさせる作品でした。会場はほぼ満席となり、生バンドの演奏での迫力あるダンスや、地域づくりの活動や高齢者の恋愛などもあり、絶え間ない拍手や笑いで、大盛況となりました。昨年十一月に実行委員会が発足し、看板設置や広報活動、チケット販売などの取り組みを、旧有明町、旧志布志町出身の実行委員のメンバーとするのも初めてなことで、新鮮で、また感心させられることが多かったです。また、十二月十五日には今回の公演のお披露目会ということで志布志市消防団、各公民館、各ふるさとづくり委員会など市内の各種団体に参集して頂き、市内団体の交流会なども行いました。この公演を行うにあたり、、志布志市消防団のほか、市内のたくさんの方々の後援や協力のおかげで、公演が大成功に終わったことに、大きな感謝と感動を覚えました。今回、このような取り組みで、新しい出会いがあり、新しい仲間ができ、新しいつながりができたことが大変喜ばしく、また地域のつながり、そして地域間のつながりの大切さを学んだように思います。今後もこの志布志市で新しい、また太いつながりがたくさんできていけばと望みます。

実行委員一丸となって
頑張りました!!!

追　悼
ゲイス神父



大隅の國やっちく松山藩が平成17年当初から関わっている、国際青少年音楽祭に、第1回、第3回に来日しているベルギーの「カンターテドミノ少年合唱団」のゲイス神父さんが、御逝去されました。

第1回目の平成17年度に来日し、やっちく松山藩一同による手づくりの「おもてなし」や「こだわり」「心意気」＝ やっちく魂」に感銘を受けられたゲイス神父さんは、再び合唱団の子どもたちをやっちく魂」に触れさせることで、音楽活動に対しての子どもたちの情熱」を高め、そして、何よりも再びやっちく松山藩の「侍」達に会いたいという思いで、昨年7月に2度目の来日が実現し、前回以上の「心の交流」が深められたところです。

また、4月13日には、志布志市とEUジャパンからの表敬訪問団5名（やっちく藩士2名）で、ベルギーにあるゲイス神父さんの墓参りをし、夜はカンターテドミノ少年合唱団のコンサートを聞き、神父さんへの哀悼の念を表してきました。合唱団の子供たちは、神父さんを失い、かなりの気落ちをしており、立て直しに時間はかかるということでしたが、また、やっちくの「侍」に会いに行きたいと言ってくれていたそうです。

お釈迦祭り４/２９開催!!

やっちく何でもQ＆A

Q　野菜の大判振舞は誰が作っているの?
A，松山町の農業青壮年部の方が祭のために1200人分野菜を作ってくれます。

Q，祭の時に子どもの遊べる場所はあるの？
A，忍者屋敷・迷路・サスケ・玉入れ・ふわふわ・動物園・駄菓子などなど一日中楽しめます。

Q，松山城は何で出来ているの？
A，ﾍﾞﾆﾔ板約１７０枚を組み立てており、高さ18ｍ・幅27ｍ・ちなみに厚さは５㎜です。

Q，藩主は給料をもらってるの？
A，気持ちは２００万くらい欲しいのですが（笑）もらっていません。

Q，姫はどうやって決めるの？
A，自薦・他薦徒いません。
連絡待ってまぁす！！！！

Q，松山城や忍者屋敷は祭の後、どうしているの？
A，毎年解体して、大事に倉庫に保管してます。

Q，やっちくに参加するにはどうすればいいの？
A，やっちく藩士になれば良いのですよ。

Q，なぜヒゲを生やすの？
A，みんなの気持ちを一つにして、祭を盛り上げるためです。

第六号

やっちく瓦版

２００８年（平成２０年）４月２５日（金）

シリーズ 歴代藩主が語る

第四代藩主 下曽小川越後守省一

本年で二十周年を迎える、やっちく松山藩も第五代藩王を数え、初代、松原治美氏からこの間それぞれの藩王の特徴を思いっきり発揮されてきました。私が藩王になったころは、やっちくの名も県内はじめ、全国各地の大勢の人たちにも知られて、とても活動しやすくなってきていました。なかでも、江戸開府４百年の年に、大勢の藩士と、旧品川宿で甲冑をまとい行進し、翌日、日比谷公会堂まで約十キロ歩いたりして、鹿児島大学の原口教授に藩主の鎧を着てもらい、伊集院の方々と式典で鹿児島の存在感を大いに発揮できました。そして、今も（薩摩品川宿）として、交流を続けています。また、EUジャパンフェスト日本委員会のご協力で国際交流事業として、旧松山町の時ベルギー王国のカンターテ・ドミノ合唱団を受け入れ、また、メンバーを町内の方にホームステイしてもらい、英語も分らない中で孤軍奮闘していただいて、コンサートを含め、すばらしい交流ができました。この国際交流も本年で４回目を実現すべく、志布志市の協力をいただきながら、準備が始まろうとしています。このように、特色ある活動ができたのも、やっちく松山藩だから、出来たものと思っています。藩士が自ら智恵をだし、汗をかき、今以上のやっちくにしていこうとする取り組みは、この上ない、やっちく松山藩の特徴なのではないでしょうか。

やっちくの最大のテーマである、我らは古きと新しきに和をもたらせし者なり　を思いはせながら、今後の志布志市の為に、また、社会の為に貢献できることを信じています。

やっちく藩士いざ出陣！！

農協に入って早5年。仕事もやっちくも周りの人に助けられてばかりですが、今年で29才。そろそろ自立しなきゃ!!

上村尚平（JAそお鹿児島松山支所）

昭和55年2月3日生まれ

みずがめ座★A型

予告版

四月　お釈迦祭り

五月　南のふるさとづくり推進協議会総会

六月　やっちく会総会

やっちくむらおこし実行委員会総会

七月　国際青少年音楽祭in志布志

八月　KKB「ふるさとCM大賞」撮影

九月　キリン南の風交流会

十月　第二十回秋の陣まつり出陣式

十一月　全員動員（松山城棟上）（　日）

第二十回秋の陣まつり

前日祭（八日）

本祭（九日）

編集後記

第六号　やっちく瓦版の発行に際しまして多くの方々から記事を頂きお礼申し上げます。「やっちく瓦版」は、我々の活動の一端を市民の皆様に伝えすると共に、多くの方々の声をお聞きする窓口として、活用して参りたいと考えております。是非ともご意見・ご要望を今後もお待ちしております。　さて、いよいよ四月二十九日志布志宝満寺を中心に「お釈迦まつり」が開催されます。江戸時代から行われている釈迦降誕を祝うお祭りで、新婚花嫁を乗せたシャンシャン馬行列や、市民の踊り連パレードで会場を盛り上げます。又、隣接する志布志小学校グラウンドでは、志布志の特産品を扱った物産展も行われますので、是非足をお運びください。

やっちく瓦版編集所

スタッフ

野村・吉田・山下
末原・児玉・新村
川上・深迫・坂元

やっちく　活動報告

志布志市ふるさとまつりin有明

祭会場にてやっちく特産品コーナーを設置しました。多くの買い物客で賑わい、特産品や、やっちく名物吹き矢も大人気でした。

高規格道路開通記念ウォーキング大会

都城志布志高規格道路 松山⇔有明北）開通を記念したウォーキング大会。志布志市の更なる発展を期待して、やっちく松山藩も武者行列で参加しました。

高規格道路開通通り初め式

高規格道路の通り初め式典が厳粛に行われ、多くの関係者が見守る中、やっちく松山藩が誇る鉄砲・大砲の祝砲が放たれました。

曽於肝属地区農林技術協会合同研修会

やっちく流むらづくりを題材に、「地域の農と歴史を活かしたまちづくり」と題し、松原初代藩主が、講演しました。

大先輩方と語る会

三月十九日、今年で成人式を迎えるやっちく松山藩の更なる発展のため、大先輩方より貴重な知恵やご意見を頂戴出来ればと考え開催しました。始めはお互いに緊張した様子でしたが、貴重なご意見を沢山頂きました。

参加者の菅付秋江さんより

平成元年以来、秋の陣まつりで松山は文化の灯がともり、若者達の情熱と夢によって、すばらしいまぼろし城の築城や、鹿児島県下に「やっちく」と言ったら松山だと広く知られるようになったことなど、他に類をみない成果をあげました。それに至るまでの藩士一同の努力は大変なものだったと思います。秋の陣まつりの始まりは、加世田元町長の先見の目により「金は出すが口は出さない」と資金を出すことを決定してくれたこともありますが、それよりも加世田元町長の心を動かしたのは、立派な企画を持った初代藩主と、それを支える藩士一同の力と強い意志があったからこそと思います。市民こぞってのお祭りは、地元に根付いた微笑ましい雰囲気で、場内を一回りするだけで多くの知人と出会ったり、心が楽しくなります。

その秋の陣まつりも、今後は資金面の点でも、今までのようには運営できないと聞きました。それは時代の流れからも当然だと思います。市町村合併も挟み、いろいろな面で曲がり角を迎えた現状では、予算の見直しも必要になるのでしょう。

これから、多少形を変えるまつりになるとしても、精一杯頑張ってこられた藩士の方々にはご苦労様でしたと伝えたいです。そしてまた、その文化の灯を消すことなく、いつまでも続いて欲しいと祈りたい気持ちです。

松山城址桜植樹

春の恒例行事

松山町城山総合公園内や松山城址に、桜の植樹を行いました。毎年少しずつの植樹ですが、数年後には有名な桜の名所となるよう願っています。

（植樹で職人の様な技を見せて下さった
吉野文雄さん～松山郵便局～より）
これからも微力ながら、藩士として頑張りますので
よろしくお願いします。